



# チャレンジ!一歩前へ

郡山市立橋小学校  
学校だより No.62  
令和6年 2月14日  
文責:校長 酒井 健

## ◇合奏部の看板が掲示されました。

令和5年度の橋小学校特設合奏部の看板ができあがり、先日、校舎西側の道路沿いの壁に設置されました。

ソロ&アンサンブルコンテスト、グランドコンテストの2つのコンクールで全国大会に出場し、全国1位と全国4位を受賞・・・本当に素晴らしいことです。

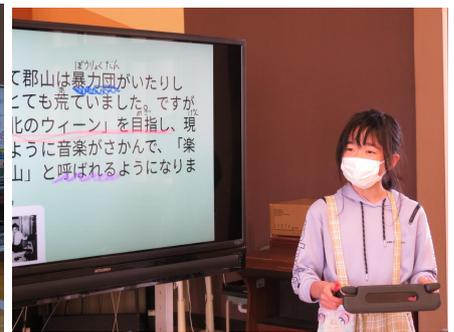
合奏部は、3月2日(土)に体育館にて「サクス・コンサート」を開催します。お世話になった皆様に感謝の想いを込めての演奏会です。ご家族の皆様はもちろん、地域にお住まいの皆様、地域以外の皆様・・・どなたでも自由にお越しいただけます。私も楽しみにしています。



## ◇オーストラリア:パース日本人学校との交流が実現しました。



2月13日(火)、4年生の子どもたちは、Zoomにて、オーストラリアのパースという都市の日本人学校の子もたちと交流をしました。パースという都市は、シドニーやメルボルンなどの東海岸ではなく、反対の西海岸にある都市です。その日本人学校に勤めている教員と縁があり今回の交流が実現しました。時差は1時間(日本が1時間進んでいます)。子どもたちは、それぞれの国の紹介をしたり、福島県のPRをしたりなど、有意義な一時となりました。ご協力いただきました「パース日本人学校」の校長先生はじめ、先生方、そして子どもたちに心から感謝いたします。20日(火)は第2回目を実施します。



## 校長のひとりごと

今日のお話は、昭和時代のお話です。私は、大学を卒業後、1年間、白河市のある小学校で講師をしていました。時は、昭和62年、5年生の担任。今、考えると、子どもたちと過ごした毎日は、まさに「無我夢中」「一心不乱」であったように感じます。

ある日、担任していた子どもたちが、私のところに来て、「ボールで遊んでいたら、窓ガラスが割れてしまいました」と言ってきました。まず、その言葉を聞いて、私は「窓ガラスが割れてしまいました・・・ではなく、窓ガラスを割ってしまいました・・・だろう!」と厳しい口調で怒りました。その後、「なんでそうなってしまったのか」「遊ぶ場所が悪かったのではないかと、私の口からは、厳しい指導の言葉が続きました。そして、最後には「教頭先生のところに行って謝らないとだめだ」と言い、泣いている子どもたちを職員室に連れて行きました。教頭先生からも厳しく指導の言葉が飛び出すと思っていた私は、その後、信じられない状況に驚きました。教頭先生からの第一声・・・「けがはしなかったの?」「そう、それはよかったね」・・・、ガラスを割ってしまったことだけにポイントをあてて、厳しく指導した自分は、その言葉を聞いて、「うそでしょう!!自分が悪者みたいになってしまった」と感じました。

でも、後でよく考えてみると、「なるほど、そういうことか」と感じる事ができました。

子どもたちを指導する際は・・・タイミングとバランス、状況把握、同じことをいつまでも繰り返さない、子どもの心を考えて諭す、感情的になってはいけない・・・ことが大切なんだということを教頭先生に教えてもらったのだということです。

一枚のガラスの破損が、私に教えてくれたのです。36年ほど前、むかーし、むかしのお話でした。

